



これは、2月10日の東京定例会における《3分でわかる！聖書 Q234 新型コロナウイルスの広がりをどう理解すべきか》のメッセージです。（一部分編集してあります。）

Q: 新型コロナウイルスが世界中に広がっています。本当に恐ろしい時代です。この問題は、聖書的にはどう考えたらよいのでしょうか。

A: これは断定的に答えるのがとても難しいテーマです。中川師は次のような考えを述べています。

1 疫病の存在は、被造世界が墮落した状態にあることを示しています。

質問者は「本当に恐ろしい時代です。」と言われましたが、実は、世界規模の疫病の被害は、歴史の転換点でたびたび起こっています。古代には天然痘、中世から近世にかけてはペスト、19世紀にはコレラ、第一次世界大戦期にはスペイン風邪と言われたインフルエンザによって、多くの人々の命が奪われました。

最近の感染症の広がりは、人類史的に言えば、グローバル化と関連しています。

◎疫病との戦いは、被造世界が完全な状態に回復されるまで続きます。

2 疫病が霊的メッセージを持っている場合もあります。

つまり、神が疫病を通してお語りになるということです。その例を3つ挙げます。

① 出エジプトの時代、神はエジプトに疫病をもたらされました。目的は、ファラオにイスラエルの民を解放させるためです。

② カナンの地に定住して以降の時代、神はイスラエルの民に疫病をもたらされました。目的は、イスラエルの民を悔い改めに導くためです。

③ イエスは、すべての病を癒されました。これは、イエスが救い主であることを証明するしるしとなりました。

◎疫病に霊的メッセージが込められているかどうかについては、慎重に判断する必要があります。

3 疫病は、患難期の予表と見ることができます。

① 終末時代に関して、イエスはこう語っておられます。

大きな地震があり、方々に飢饉や疫病が起こり、恐ろしい光景や天からの大きなしるしが現れます。（ルカ21:11）

② 黙示録16章には七つの鉢の裁きが出てきますが、これは患難期に地上を襲う最悪の疫病と災害についての預言です。

◎ 今の感染症の広がりから学ぶべき教訓は、これよりもはるかに過酷な疫病と災害に対して自分は備えができていだろうかということです。イエス・キリストを救い主と信じるのが、最高の備えとなります。なぜならば、イエス・キリストを信じた者は、患難期の裁きから守られるからです。

◎ 感染症の広がりは、終末時代への備えをするようにという警告と考えることができます。

コロナウィルス命名由来	電子顕微鏡で観察されるコロナウィルスは、直径約100nm(ナノメートル)の球形で、表面には突起が見られる。形態が王冠“crown”に似ていることからギリシャ語で王冠を意味する“corona”という名前が付けられた。			
	今までに知られているコロナウィルス			新型コロナウイルス
	風邪のウィルス4種類	動物から感染する重症肺炎ウィルス2種類		
ウィルス名	HCoV-229E, HCoV-OC43 HCoV-NL63, HCoV-HKU1	SARS-CoV	MERS-CoV	SARS-CoV-2
病名	風邪	SARS(重症急性呼吸器症候群)	MERS(中東呼吸器症候群)	COVID-19
発生年	毎年	2002年～2003年(終息)	2012年～現在	2019年12月～
発生地域	世界中	中国広東省	アラビア半島とその周辺地域	中国湖北省武漢市(魚介類卸売場で集団発生)
宿主動物	ヒト	キクガシラコウモリ (中国南部に棲息)	ヒトコブラクダ(中東、アフリカに棲息)	? (コウモリではという見方もある。)
死亡者数/感染者数	不明/70億	774/8,098 (致死率 9.6%)	858/2,494(2019/11/30時点) (致死率 34.4%)	2月17日12:00時点 1,775/71,428 (致死率2.5%) (内訳) 中国1,770/70,548 日本1/60 クルーズ船0/454(うち無症状189)
感染者の年齢	多くは6歳以下。全年齢に感染する。	中央値40歳(範囲 0～100歳) 子供にはほとんど感染しない。	中央値52歳(範囲 1～109歳) 子供にはほとんど感染しない。	
主な症状	鼻炎、上気道炎、下痢	高熱、肺炎、下痢	高熱、肺炎、腎炎、下痢	発熱(37.5℃以上)、喉の痛み、咳、痰、胸部不快感
重症者の特徴	通常は重症化しない。	糖尿病等の慢性疾患、高齢者	糖尿病等の慢性疾患、高齢者、入院患者	
感染経路	咳、飛沫、接触	咳、飛沫、接触、便	咳、飛沫、接触	飛沫、接触
ヒト-ヒト感染	1人→多数	1人から1人以下	1人から1人以下	ヒトからヒトへ感染する
潜伏期間	2～4日 (HCoV-229E,)	2～10日	2～14日	1～12.5日 (多くは5～6日)

◎旧約聖書では、コウモリは、不浄な鳥として、食用を禁じられた。(レビ11:19、申14:18)

◎感染予防策 ①石けんやアルコール消毒液などによる手洗い ②咳エチケット(咳・くしゃみをする際、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻を押さえる) ③持病がある人などは、公共交通機関や人混みの多い場所などを避ける。④マスクの着用は、屋内や乗り物等換気の不十分な場所では予防策の一つとして考えられるが、屋外などでは、相当込み合っていない限り、効果は余り認められていない。